

校長のつぶやき

校長室便り 第11号

令和元年5月27日 山内



○岩高生運動部の活躍

～バドミントン部県高校総体個人戦速報 野球部高校日本代表佐々木朗希投手と対戦～

5月24日(金)、25日(土)岩高バドミントン部は仙台市で行われた第68回宮城県高校総体バドミントン競技個人対抗戦に出場しました。その中で3年生の高橋・伊藤ペアが1回戦、2回戦を突破しシードの聖ウルスラ学院英智高ペアとの3回戦に進出しました。結果は惜しくも敗れましたが、強豪校ペアを相手に堂々の戦いで「岩高ここにあり」を見せてくれました。他の競技同様6月1日(土)から始まる団体戦に期待します。

校長便り10号の中で、プロ野球で活躍する本校の卒業生、皆さんの先輩の今野龍太さんのことを取り上げましたが、今ここ東奥の郷には全国から、いや世界から注目される一人の高校3年生がいます。大船渡高校野球部佐々木朗希投手です。4月6日(土)に行われたU18高校日本代表候補合宿の紅白戦登板で高校生史上最速の163キロの直球を投じた彼は「令和の怪物」と呼ばれ、練習試合でも国内外のプロのスカウトが視察に訪れる「時の人」と言えます。岩高は一迫商、加美農と3校連合チームを組んでいますが、今回は大船渡の監督の先生と加美農の監督の先生が親しくされていて、以前から5月26日(日)に加美農のグラウンドで練習試合を行うことが決まっていたそうです。この練習試合のことはさっそくネットのニュース速報でも報じられるくらい注目されていました。佐々木投手は5回無安打1失点と報じられていました。このことは同日行われた同窓会本部総会でも報告しました。今朝、5月27日(月)朝の校門挨拶運動で、岩淵・工藤両先生から詳細を伺ったところ、貴重な1点は岩高2年松浦力樹選手の犠牲フライであげたものだというのです。間もなく朝の清掃活動から戻った5人の野球部の中に松浦選手がいたので聞いてみました。「今までに見たこともないくらいの速球」「ボールの回転の音がすごかった」「打った球はチェンジアップ」「将来メジャーに行くかもしれない投手との対戦はいい経験になった」等々聞かせてくれました。試合は大差で敗れたものの、本当に貴重な1点となりました。

○岩高同窓会本部総会



岩高野球部が佐々木投手と対戦している頃、この日30度をゆうにこえる猛暑の中、大崎市立図書館研修室で同窓会本部総会が開かれました。今野龍太投手の活躍に加え、この日加美農グラウンドで行われている試合等岩高生の活躍に同窓会の皆様も大変喜ばれていました。野球部が毎日朝の清掃活動を行っていますが、今年は同窓会役員の方々方が少しでも役に立ちたいという思いから6月7日に有備館駅周辺の清掃活動を行うそうです。

非常にありがたいことですが、元々はゴミがなければいいのです。校舎周辺でもゴミが見受けられます。ゴミは捨てない、見たら拾う、一人一人が「安全・安心な学校づくり」の意識を持ち、整理整頓された学校を目指しましょう。では今回の校長のつぶやきはこれでお終いにします。

「同窓会 昔も今も 変わらずに 大声謳う 我母校歌な」